

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	別表第二記載内容	別表第二記載箇所 品質Sクラス	参照（別表第二記載別設備記載） 品質Sクラス（建設用A、B、Cクラス）	備考	改造工事の混雑付属	(左記にて改造工事実施済みの場合、 建設用A、B、Cクラスを記載) 改造工事の別設備計算書の提出有無	(左記にて別設備計算書提出済みの場合、「記載」 別設備の別設備計算書における別設備記載)
炉心	炉心形状、燃料集合体、炉心有物高さ及び炉心等価直径 燃料材料の種類、燃料集合体平均濃縮度は富化炭、燃料集合体最高濃縮度は及び燃料材料の最大濃縮度	燃料集合体	燃料集合体	有り	有り	有り	①
		炉心シールド	炉心シールド	無し	無し	無し	①
		上部格子板	上部格子板	無し	無し	無し	①
		炉心支持構造物	炉心支持板	無し	無し	無し	①
		燃料支持金具	中央燃料支持金具 周辺燃料支持金具	無し	無し	無し	①
		制御棒案内管	制御棒案内管	無し	無し	無し	①
		燃料集合体	燃料集合体	有り	有り	有り	①
		炉心シールド	炉心シールド	無し	無し	無し	①
		上部格子板	上部格子板	無し	無し	無し	①
		炉心支持構造物	炉心支持板	無し	無し	無し	①
反射材							
原子炉本体	炉心圧力容器本体 監視設備 燃料圧力容器支持構造物 蒸発器 炉心圧力容器支持構造物 炉心圧力容器	炉心圧力容器	炉心圧力容器	有り (N12ノズル)	有り	有り	①
		監視設備					
		燃料圧力容器支持構造物					
		蒸発器					
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				
		炉心圧力容器	炉心圧力容器				



別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	別表第二記載内容 動機もクラス	参考 (別表第二記載設備記載) 動機もクラス (建設のA3, Aクラス)	備考	改造工事の取捨判断	(左記にて改造工事取捨判断の場合、 改造工事の取捨判断書は提出有無 記載)	(左記にて改造工事取捨判断の場合、 改造工事の取捨判断書は提出有無 記載)	(左記にて改造工事取捨判断の場合、 改造工事の取捨判断書は提出有無 記載)
使用設備 材料取捨 設備	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
使用設備 材料取捨 設備	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---
	使用設備材料取捨	使用設備材料取捨	野成アール	---	---	---	---

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	東海第二発電所 今回工事設備内容 新設501号	参考（既設第二発電所建設工事記録） 新設501号（建設4号、A501号）	備考	改造工事の設備有無	(左記にて改造工事及規模ありの場合、 改造工事の設備計算書の新設有無 を記述すること) ① B1-601を適用してあり、その中で告示501号 を呼び込んでいる ② B1-601を適用してあり、告示501号を呼び込む代 わりにB1Eを適用してあり、告示501号を呼び込む代 わりにI3Eを適用してあり、告示501号を適用 ③ ②に加え、呼び込み以外でもI3Eを適用 ④ ②に加え、呼び込み以外でもI3Eを適用 ⑤ その他（仕様を記載）	
原子的炉 燃料槽 機器類	ポンプ	新設循環ポンプ	新設循環ポンプ	無し	無し	
	原動機	---	---	---	---	
	主要弁	---*1	主要弁*2	---	---	
原子的炉 燃料槽 機器類	去配管	- 原子炉冷却材循環配管（サブポート含む）	- 再循環配管*	無し	無し	
	熱交換器	---	---	---	---	
	ポンプ	---	---	---	---	
	弁類	自動化用制御用アクチュエータ 遮断し安全弁制御用アクチュエータ	遮断し安全弁制御用アクチュエータ 自動化用制御用アクチュエータ	無し	無し	
	ろ過装置	---	---	---	---	
	原子的炉 燃料槽 機器類	主要気系配管（放射線用）*1 遮断し安全弁 U22-F0130, E, J, M, N, P, U 遮断し安全弁（燃料冷却用） U22-F0130, G, S, V 遮断し安全弁（自動化用） U22-F0130, C, F, H, L, R RC2-F010A, B RC2-F022A, B, C, D RC2-F028A, B, C, D RC2-F022A, B	放射線用制御用アクチュエータ 遮断し安全弁 U22-F0130, E, J, M, N, P, U 遮断し安全弁（燃料冷却用） U22-F0130, G, S, V 遮断し安全弁（自動化用） U22-F0130, C, F, H, L, R RC2-F010A, B RC2-F022A, B, C, D RC2-F028A, B, C, D RC2-F022A, B	*1: 放射線配管の一部として評価 *2: 建設時設備計算なし	無し	無し
	冷却水又は冷却油	---	---	---	---	
	熱交換器	既設熱除去系熱交換器	既設熱除去系熱交換器	無し	無し	
	ポンプ	既設熱除去系ポンプ（構造、動的）	既設熱除去系ポンプ *1: 既設熱除去系ポンプ	無し	無し	
	原子的炉 燃料槽 機器類	既設熱除去系ポンプ用原動機（構造、動的）	---	---	---	
圧機機	---	---	---	---		
ろ過装置	既設熱除去系ストレーナーA, B, C	既設熱除去系ストレーナ	有り	有り		
安全弁及び遮断弁	E12-F005 E12-F025A, B, C E12-F1029	---	*1: 動的機能評価の要求なし *2: 建設時設備計算なし	無し	---	

別表第二を踏まえ対象設備の網羅性

別表第二対象項目	別表第二対象箇所 新機Sプラズマ	新機第二発電所 新機Sプラズマ	参考(別表第二発電所建設工区表) 新機Sプラズマ(建設物A3, A4プラズマ)	備考	改造工事の取捨有無	(左記にて改造工事実施ありの場合、 改造工事の取捨計算書は別表第二を 記載)	(左記にて取捨計算書提出ありの場合、 改造工事の取捨計算書は別表第二を 記載)							
残留熱冷 却設備	注番号 E12-F008 E12-F009 E12-F023 E12-F03A, B E12-F02A, B E12-F02A, B, C E12-F02A, B, C E12-F02A, B E12-F02A, B E12-F03A, B	・残留熱冷却系配管(サポート含む) ・残留熱冷却系配管	---	*1: 動向確認計画を要求される範囲S *2: 建設時取捨計算なし	有り (E12-F05A)	無し	---							
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
								注番号	---	---	---	---	---	---
原子炉冷 却系 設備	注番号 E21-F018 E22-F014 E22-F035 E21-F006 E22-F001 E22-F005	・高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) ・低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) ・高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) ・低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的)	高圧炉心スプレイスポンジ 高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) 低圧炉心スプレイスポンジ 低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) 高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) 低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的)	*1: 建設工区(第10回)資料II-2-4 ・残留熱冷却系配管の取捨について 計算書)及び「建設工区(第10回)資 料II-2-2」残留熱冷却系配管の取捨性 についての計算書)に記載	有り	有り	①							
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
原子炉冷 却系 設備	注番号 E21-F018 E22-F014 E22-F035 E21-F006 E22-F001 E22-F005	・高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) ・低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) ・高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) ・低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的)	高圧炉心スプレイスポンジ 高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) 低圧炉心スプレイスポンジ 低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) 高圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的) 低圧炉心スプレイスポンジ用原動機(構造、動 的)	*1: 建設工区(第10回)資料II-2-4 ・残留熱冷却系配管の取捨について 計算書)及び「建設工区(第10回)資 料II-2-2」残留熱冷却系配管の取捨性 についての計算書)に記載	有り	有り	②							
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	
								注番号	---	---	---	---	---	

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二品番号	別表第二品電号 動機Sクラス	動機Sクラス (建設用A, Aクラス)	備考	改造工事の取極有無	(左記にて改造工事取極ありの場合、改造工事の取極計算書は提出有無)	(左記にて別表第二品電号ありの場合、改造工事の取極計算書は提出有無)
原子炉燃料供給設備	主要弁	BS-E003 BS-E004 BS-E005 BS-E006	---	有	無し	---
	主要管	・原子炉隔離時冷却系配管 (サブポー+含む)	・原子炉隔離時冷却系配管 *1: 燃料搬送設備を要求される動機Sクラス主要弁を記載 *2: 建造時取極計算なし	有	有	⑤ (建設時工事と同じ取極であり、ASMEを適用)
	冷却器又は冷却機	---	---	---	---	---
	熱交換器	---	---	---	---	---
	ポンプ	・残留熱除去系海水系ポンプ (構造、動的)	残留熱除去系海水系ポンプ	---	有	⑤
	原動機	・残留熱除去系海水系ポンプ用原動機 (構造、動的)	---	---	---	---
	圧縮機	---	---	---	---	---
	原動機	---	---	---	---	---
	弁	---	---	---	---	---
	ろ過装置	残留熱除去系海水系ストレーナ	残留熱除去系海水系ストレーナ	---	無し	---
原子炉隔離冷却設備	安全弁及び遮かし弁	---	---	---	---	---
	主要弁	→*1	原子炉隔離冷却系主要弁 (隔離弁) *2	---	---	---
	主要管	・残留熱除去系海水系配管 (サブポー+含む)	・残留熱除去系海水系配管* *1: (建設工事 (第10回) 資料D-2-3) 残留熱除去系海水系配管の取極性について「計算書」及び「建設工事 (第10回) 資料D-2-3-1残留熱除去系海水系配管の取極性」についての計算書に記載	無し	---	---
	送風機	---	体当設備なし	---	---	---
	原動機	---	体当設備なし	---	---	---
	圧縮機	---	体当設備なし	---	---	---
	排気機	---	体当設備なし	---	---	---
	原動機	---	体当設備なし	---	---	---
	原動機	---	体当設備なし	---	---	---
	原動機	---	体当設備なし	---	---	---

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	東海第二発電所 今回工事記載内容 制御システム	参考 (東海第二発電所建設工事記載) 制御システム (建設時A.S., B.システム)	備考	改造工事の基礎情報	(左記にて改造工事実施ありの場合、 改造工事の網羅計算書の提出有無)	(左記にて対象機器が適用される場合、 改造工事の網羅計算書における適用区分)	
原 子 力 各 種 機 器 設 置	熱交換器	---	---	制御システム以外の設備	---	① BSG601を適用しており、その中で指示501号を呼び込んでいる。 ② BSG601を適用しており、指示501号を呼び込む代わりにBSRを呼び込んでいる。 ③ BSG601を適用しており、指示501号以外でも指示501号を適用 ④ BSG601に加え、呼び込み以外でもBSRを適用 ⑤ その他の型 (注記を記載)	
	ポンプ	---	---	制御システム以外の設備	---	---	
	駆動機	---	---	制御システム以外の設備	---	---	
	原子炉冷却回路 設備	---	---	制御システム以外の設備	---	---	
	安全弁及び連動弁	---	---	制御システム以外の設備	---	---	
	主変弁 GG-T001 GG-T004	原子炉冷却回路系主変弁 (附属弁) *	---	制御システム以外の設備	有り	無し	
	主配管	・原子炉冷却回路系配管 (サブポート含む) ・原子炉冷却回路系配管 *	---	①：熱交換器 (第8回) 資料H-2-2 原子炉冷却回路系配管の網羅性について ②：施設高層計算なし	有り	有り ①	
	制御弁	制御弁 (挿入型)	制御弁	---	有り	有り	
	ほう流水	---	---	設備ではない。	---	---	
	計 測 制 御 系 統 設 置	制御系統機器	制御系統機器	制御系統機器 *	---	有り	無し
駆動機		ポンプ	---	該当設備なし	---	---	
		駆動機	---	---	制御システム以外の設備	---	---
制御系統 本機設備		機器	水圧制御ユニット (アクチュエレータ、直巻巻部)	制御ユニット システム出力ユニット *	制御システム以外の設備	---	---
		過渡装置	---	---	制御システム以外の設備	---	---
		主変弁	CL2-126 CL2-127	制御系統動水圧系主変弁 (附属弁) *	---	有り	無し
		主配管	---	制御系統動水圧系配管 (サブポート含む) ・制御系統動水圧系配管 *	①：動力機器維持を要される制御システム ②：施設高層計算なし	無し	---
		---	---	---	①：施設高層計算なし	---	---
		---	---	---	①：施設高層計算なし ②：施設高層計算なし ③：施設高層計算なし ④：制御系統動水圧系配管の網羅性について の計算書に記載	無し	---

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	別表第二記載内容 動機・クラスタ	動機・クラスタ 今回工事記載内容 動機・クラスタ	参考（別表第二記載設備工事記載） 動機・クラスタ（建設のA.S.、A.クラスタ）	備考	（左記にて改修工事実施ありの場合、 記載） 改修工事の設備計算書の提出有無	（注）にて対象設備を算出する場合は、 改修工事の設備計算書における適用単位 を併記する。
ポンプ	ほう酸水注入ポンプ（構造、動的）	ほう酸水注入ポンプ（構造、動的）	ほう酸水注入ポンプ	無し	—	—
原動機	ほう酸水注入ポンプ用原動機（構造、動的）	ほう酸水注入ポンプ用原動機（構造、動的）	—	—	—	—
容器	ほう酸水貯蔵タンク	ほう酸水貯蔵タンク	ほう酸水貯蔵タンク	無し	—	—
安全弁及び遮り弁	CH-RO2B, B	—	—	無し	—	—
主要弁	—	—	—	無し	—	—
主配管	ほう酸水注入系配管（ホースト含む）	ほう酸水注入系配管*	ほう酸水注入系配管*	無し	—	—
起動機・計測装置（中性子線測定計測装置、中間領域計測装置）及び出力領域計測装置	起動機・計測装置、中間領域計測装置、出力領域計測装置	起動機・計測装置* 出力領域計測装置	中間領域計測装置* 中性子線測定計測装置* 出力領域計測装置	有り（起動機・計測装置）	有り（起動機・計測装置）	①
計測制御系統施設	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
計測装置	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	有り（起動機・計測装置）	有り（起動機・計測装置）	①
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—
	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	原子炉炉心圧力計測装置（炉心圧力計測装置）	無し	—	—



別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	東海第二発電所 全同工区設備内容 制御システム	備考 (別表第二記載対象設備) 制御システム (H制御A, B, C, D)	備考	改造工事の取扱有無	(左記にて改造工事実施ありの場合、 改造工事の網羅計画書の提出有無 を呼び込ませる) 改造工事の網羅計画書の提出有無	(左記にて設備計画書提出ありの場合、 改造工事の網羅計画書は基本は 呼び込ませない) 改造工事の網羅計画書の提出有無	
原子炉非常停止信号	---	---	該当設備なし	---	---	---	
工学的安全施設等の起動信号	---	---	該当設備なし	---	---	---	
計測制御系統 制御用空気設備	圧縮機	---	制御システム以外の設備	---	---	---	
	送風機	---	制御システム以外の設備	---	---	---	
	音階	---	制御システム以外の設備	---	---	---	
	安全弁	---	---	---	---	---	
	主気弁	---	---	---	---	---	
	主気管	---	・制御用空気設備配管*	・ 接続網羅計画なし	無し	---	---
	原子炉冷却材循環ポンプ可変周波数電源装置	---	---	制御システム以外の設備	---	---	---
放射線計測装置 原子炉冷却材循環ポンプ配セット 電源装置	原子炉冷却材循環ポンプ配セット	---	制御システム以外の設備	---	---	---	
	送風機	---	---	---	---	---	
	ポンプ	---	該当設備なし	---	---	---	
	原動機	---	---	---	---	---	
	音階	---	---	---	---	---	
	音階	---	・制御用空気設備配管 (ポンプを含む)	---	---	---	
	制御用空気設備	---	---	---	---	---	
放射線計測装置 原子炉冷却材循環ポンプ配セット 電源装置	原子炉冷却材循環ポンプ配セット	---	---	---	---	---	
	送風機	---	---	---	---	---	
	ポンプ	---	---	---	---	---	
	原動機	---	---	---	---	---	
	音階	---	---	---	---	---	
	音階	---	---	---	---	---	
	制御用空気設備	---	---	---	---	---	
放射線計測装置 原子炉冷却材循環ポンプ配セット 電源装置	原子炉冷却材循環ポンプ配セット	---	---	---	---	---	
	送風機	---	---	---	---	---	
	ポンプ	---	---	---	---	---	
	原動機	---	---	---	---	---	
	音階	---	---	---	---	---	
	音階	---	---	---	---	---	
	制御用空気設備	---	---	---	---	---	

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二品名	東海第二発電所 今回工事設備内容 副機Sクラス	参考（東海第二発電所建設工事設計） 副機Sクラス（建設OAS, Aクラス）	備考	（左記にて改造工事実施ありの場合、左記） 改造工事の副機計算書の提出有無	（左記にて副機計算書提出ありの場合、左記） 改造工事の副機計算書提出有無	
気体・液体又は固体燃焼物の処理設備	原動機	---	副機Sクラス以外の設備	---	---	
	圧縮機	---	該当設備なし	---	---	
	原動機	---	該当設備なし	---	---	
	容器	---	副機Sクラス以外の設備	---	---	
	液体状の放射性燃焼物の運搬用容器	---	該当設備なし	---	---	
	固体状の放射性燃焼物の運搬用容器	---	該当設備なし	---	---	
	貯蔵槽	---	該当設備なし	---	---	
	ろ過装置	---	副機Sクラス以外の設備	---	---	
	主要弁	G13-F102 G13-F103 G13-F104 G13-F109	主要弁（副機弁）*2	*1：船舶機燃焼物の要求なし *2：建設時副機計算なし	無し	---
	主配管	・液体燃焼物処理系配管（サブポー、も含む）	・液体燃焼物処理系配管*	*：建設工事（第1回）資料第-2-3 液体燃焼物処理系配管の副機計算 についての計算書）に記載	無し	---
	送風機	---	---	該当設備なし	---	---
	原動機	---	---	該当設備なし	---	---
	排気機	---	---	該当設備なし	---	---
	原動機	---	---	該当設備なし	---	---
	ブローワ	---	---	副機Sクラス以外の設備	---	---
原動機	---	---	副機Sクラス以外の設備	---	---	
排気機	---	---	副機Sクラス以外の設備	---	---	
排気口	---	---	該当設備なし	---	---	
排気筒	非常用ガス処理系排気筒	排気筒（主排気筒、非常用ガス処理系排気筒）	無し	無し	---	



別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	東海第二発電所 今回工事設備内容 新機とクラス	参考（別表第二記載所設工事設備） 新機とクラス（建設年度、クラス）	備考	改造工事の項目有無	(左記にて改造工事及機おりの場合、 記載) 改造工事の新機計算書の提出有無	(左記にて新機計算書提出済みの場合、記載) 名目工場の新機計算書における適用原価 ①DE6600を適用しており、 ②DE6600を適用しており、 ③DE6600を適用しており、 ④DE6600を適用しており、 ⑤DE6600を適用しており、 ⑥DE6600を適用しており、 ⑦DE6600を適用しており、 ⑧DE6600を適用しており、 ⑨DE6600を適用しており、 ⑩DE6600を適用しており、 ⑪DE6600を適用しており、 ⑫DE6600を適用しており、 ⑬DE6600を適用しており、 ⑭DE6600を適用しており、 ⑮DE6600を適用しており、 ⑯DE6600を適用しており、 ⑰DE6600を適用しており、 ⑱DE6600を適用しており、 ⑲DE6600を適用しており、 ⑳DE6600を適用しており、 ㉑DE6600を適用しており、 ㉒DE6600を適用しており、 ㉓DE6600を適用しており、 ㉔DE6600を適用しており、 ㉕DE6600を適用しており、 ㉖DE6600を適用しており、 ㉗DE6600を適用しており、 ㉘DE6600を適用しており、 ㉙DE6600を適用しており、 ㉚DE6600を適用しており、 ㉛DE6600を適用しており、 ㉜DE6600を適用しており、 ㉝DE6600を適用しており、 ㉞DE6600を適用しており、 ㉟DE6600を適用しており、 ㊱DE6600を適用しており、 ㊲DE6600を適用しており、 ㊳DE6600を適用しており、 ㊴DE6600を適用しており、 ㊵DE6600を適用しており、 ㊶DE6600を適用しており、 ㊷DE6600を適用しており、 ㊸DE6600を適用しており、 ㊹DE6600を適用しており、 ㊺DE6600を適用しており、 ㊻DE6600を適用しており、 ㊼DE6600を適用しており、 ㊽DE6600を適用しており、 ㊾DE6600を適用しており、 ㊿DE6600を適用しており、 ①
原子炉格納容器本体	原子炉格納容器 (ドライウエル、サブプレッシャ、チャンバ)	原子炉格納容器 トライウエル 原子炉格納容器 サプレッシャ、チャンバ		無し	無し	無し
機器搬出入口	機器搬入用ハッチ	イクライプリアントハッチ		無し	無し	無し
エアロック	所長用エアロック	パーソナルエアロック		無し	無し	無し
原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	サブプレッシャ・チャンバイクセスハッチ	イクセスハッチ		無し	無し	無し
原子炉格納容器格納	配管貫通部 (ペネトレーション付貫通部、ペネトレーションなし貫通部、二層管型、計測用) 電気配線貫通部	配管貫通部 (タイプ1, 2, 3) 電気配線貫通部		有り (電気配線貫通部) 有り (ペネトレーション貫通部) 有り (計測用)	有り (電気配線貫通部) 無し (ペネトレーション貫通部) 無し (計測用)	①
原子炉建屋	原子炉建屋原子炉棟	原子炉建屋 (2次格納施設)		無し	無し	無し
	機器搬出入口			無し	無し	無し
エアロック	原子炉建屋人員物出入口			無し	無し	無し
原子炉建屋格納スラブ	原子炉建屋エアロック			無し	無し	無し
真空減圧装置	原子炉建屋格納スラブ	2次格納施設格納スラブ		無し	無し	無し
ダイヤフラムフロア	真空減圧装置	真空減圧装置*	*: 建設時新機計算なし	無し	無し	無し
ダレンカー	ダイヤフラムフロア	ダイヤフラムフロア		無し	無し	無し
ベント管			該当設備なし	無し	無し	無し
ベント管	ベント管	ベント管		無し	無し	無し
ベント管			該当設備なし	無し	無し	無し
電力系統 設備その他の安全 設備	ベントヘッド		該当設備なし	無し	無し	無し
	冷却水又は冷却油		該当設備なし	無し	無し	無し
	熱交換器		該当設備なし	無し	無し	無し
	原子炉格納容器安全設備		該当設備なし	無し	無し	無し
	ポンプ		該当設備なし	無し	無し	無し
	原動機		該当設備なし	無し	無し	無し

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

初年度工事番号	東海第二発電所 各炉工部局案内書 附属システム	多摩 (東海第二発電所建設工部局) 附属システム (建設期A3, A4, A5)	備考	改造工事の取扱育弊	(左記にて改造工事発生数ありの場合、 改造工事の網羅性は別表第二を 参照すること)	(左記にて改造工事発生数ありの場合、 改造工事の網羅性は別表第二を 参照すること)
原子炉施設 等安全設備	圧縮機	---	該当設備なし	---	---	---
	冷却機	---	---	---	---	---
	容器	---	---	---	---	---
	貯蔵槽	---	---	---	---	---
	ろ過装置	---	---	---	---	---
	安全弁及び逆かし弁	---	---	---	---	---
	主要弁	---	---	---	---	---
	主配管	格納容器スプレイヘッド (ドライウェル内) 格納容器スプレイヘッド (トライアン内) 格納容器スプレイヘッド (サブプレイングレン・チェン 内)	格納容器スプレイヘッド	無し	---	---
	送風機	---	---	---	---	---
	原動機	---	---	---	---	---
	排気機	---	---	---	---	---
	原動機	---	---	---	---	---
	原動機	---	---	---	---	---
	冷却器又は冷却機	---	---	---	---	---
原子炉施設 等安全設備 以外の 設備その 他の安全 設備	熱交換機	---	該当設備なし	---	---	---
	ポンプ	---	該当設備なし	---	---	---
	原動機	---	該当設備なし	---	---	---
	圧縮機	---	該当設備なし	---	---	---
	排気機	---	該当設備なし	---	---	---
	原動機	---	該当設備なし	---	---	---
	燃料器	可燃性ガス濃度制御系統合装置 (可燃性ガス濃度 制御系統合装置(燃器4))	可燃性ガス濃度制御系統合装置(燃器2) 燃器2	無し	---	---
	容器	95円モニタールド	95円モニタールド	無し	---	---
	蒸気機	---	---	---	---	---

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	東海第二発電所 今回工事設備内容 副機室クラス	参考（別表第二記載所建設工事設備） 副機室クラス（建設0A, 5, Aクラス）	備考	（左記にて改造工費表帳ありの場合、 建設） 改造工事の副機計算書の提出有無	（左記にて改造工費表帳ありの場合、 建設） 改造工事の副機計算書の提出有無	（左記にて改造工費表帳ありの場合、 建設） 改造工事の副機計算書の提出有無
原子炉 特性 設備 圧力区域 設備 その他圧力 区域 設備	加温器	—	—	該当設備なし	—	—
	安全弁及び透かし弁	2-330A, B	—	※1：動的機能維持の要求なし ※2：建設時副機計算なし	—	—
	主要弁	SR2-1A, B SR2-5A, B SR2-7A, B SR2-9A, B SR2-11A, B SR2-12A, B	・可燃性ガス濃度制御弁設備※2 ・可燃性ガス濃度制御弁主受弁※2	※1：動的機能維持を要求される副機S クラス主要弁を記載 ※2：建設時副機計算なし	—	—
	主配管	・原子炉建屋ガス処理系非常用ガス再循環配管 （サブポート含む） ・原子炉建屋ガス処理系非常用ガス処理系配管（サブ ポート含む） ・可燃性ガス濃度制御弁配管（サブポート含む） ・主蒸気循環系配管及び物源系配管（サブポート含む）	・非常用ガス再循環系配管 ・非常用ガス処理系配管 ・可燃性ガス濃度制御弁配管 ・主蒸気循環系配管及び物源系配管*	※1：建設工事（第22回）燃料U-2-5 非常用ガス再循環系配管の副機室につ いての計算書、建設工事（第22回） 燃料U-2-5非常用ガス再循環系配管 副機室について提出済 ※2：建設工事（第22回）燃料U-2-5再燃成装 置の配管、建設工事（第22回）燃 料U-2-5-3可燃性ガス濃度制御弁配管 の副機室についての計算書、及び1度 配管副機室の副機室の副機室につい ての計算書に記載	—	—
	ブロー	可燃性ガス濃度制御系再燃成装ブロー（構造、動 的） 主蒸気循環系配管配管ブロー	可燃性ガス濃度制御系再燃成装ブロー 主蒸気循環系配管配管ブロー	—	—	—
	原動機	可燃性ガス濃度制御系再燃成装ブロー用原動機 （構造、動的） 主蒸気循環系配管配管ブロー用原動機	—	—	—	—
	再燃成装機	可燃性ガス濃度制御系再燃成装機	可燃性ガス濃度制御系再燃成装機	—	—	—
	送風機	—	—	該当設備なし	—	—
	原弁機	—	—	—	—	—
	排風機	非常用ガス再循環系排風機（構造、動的） 非常用ガス処理系排風機（構造、動的）	非常用ガス再循環系排風機 非常用ガス処理系排風機	—	—	—
	原弁機	非常用ガス再燃成装用原動機（構造、動的） 非常用ガス再燃成装用原動機（構造、動的）	—	—	—	—
	フィルター	非常用ガス再燃成装フィルター 非常用ガス再燃成装フィルター	非常用ガス再燃成装フィルター 非常用ガス再燃成装フィルター	—	—	—

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二対象項目	東徳第二発電所 全館工器具設備内容 副機Sクラス	参考 (別表第二対象外建設工器具設備) 副機Sクラス (建設用As, Aクラス)	備考	改造工事の実施有無	(左記にて改造工器具設備ありの場合、 改造工器具の副機計算書は別添付資料 を参照してください) (左記にて改造工器具設備ありの場合、 改造工器具の副機計算書の提出有無 記載) 改造工器具の副機計算書の提出有無 記載) (左記にて改造工器具設備ありの場合、 改造工器具の副機計算書は別添付資料 を参照してください) (左記にて改造工器具設備ありの場合、 改造工器具の副機計算書の提出有無 記載) 改造工器具の副機計算書の提出有無 記載)	
原子炉核種 管理施設 設備 その他 の安全 設備	容器	—	副機Sクラス以外の設備	—	—	
	蒸発器	—	副機Sクラス以外の設備	—	—	
	加温器	—	—	副機Sクラス以外の設備	—	
	原子炉核種 管理施設 設備	2-208-2 2-208-3 2-208-4 2-208-5 2-208-6 2-208-10 2-208-7 2-208-1 2-208-8 2-208-11 2-208-14	—	副機Sクラス以外の設備	—	—
		主配管	不活性ガス高圧配管 (副機等) *	・建設時副機計算なし	無し	—
		主配管	・不活性ガス配管 ・不活性ガス配管 (サブポート含む)	・建設時副機計算なし ・不活性ガス配管の副機性についての 計算書に記載	無し	—
		容器	—	該当設備なし	—	—
		主配管	—	該当設備なし	—	—
	圧力調整 装置	圧力調整板	—	該当設備なし	—	—
		主配管	—	該当設備なし	—	—
		排気機	—	該当設備なし	—	—
		排気機	—	該当設備なし	—	—
		フィルター	—	該当設備なし	—	—

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	参照第二号規 今回工事記載内 構築Sクラス	参照第二号規 構築Sクラス (建設法5, Aクラス)	備考	改造工事の異動有無	(左記にて改造工事実施か) の場合、改造工事の網羅計算書の提出有無	(左記にて改造工事実施か) の場合、改造工事の網羅計算書の提出有無	
ガスケービ 内燃機 非常用発電装置	内燃機	機関室及び過熱機	該当設備なし	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (非正常用ディーゼル発電装置) 高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
	内燃機	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (非正常用ディーゼル発電装置) * 非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	・内燃機側に付属する設備のため、内燃機側も含めて評価	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
	非常用発電装置	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	・内燃機側に付属する設備のため、内燃機側も含めて評価	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
ガスタービン	ガスタービン	調整装置及び非常調速装置	・非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
	内燃機	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
	非常用発電装置	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
その他	ガスタービン	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	
	内燃機	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
	非常用発電装置	調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し
		調整装置及び非常調速装置	非正常用ディーゼル発電機 (高圧中心スプレイスライダ用ディーゼル発電装置) *	無し	無し	無し	無し

その結果 電用 原 子 炉 の 附 属 設 備



別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	電機第二号電器 耐震Sクラス	電機第二号電器 耐震Sクラス	参考 (電機第二号電器建設工部記載) 耐震Sクラス (建設H5, Aクラス)	備考	改造工事の実績の有無	(左記にて改造工事実施ありの場合、 建設工部の耐震計算書における適用箇所)	(左記にて耐震計算書提出ありの場合、 建設工部の耐震計算書における適用箇所)	
燃料設備	貯蔵槽	---	---	該当設備なし	---	---	---	
	主配管	・非常用ディーゼル発電機用配管 (サポート含む) ・高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機用配管 (サ ポート含む)	---	---	---	---	---	
発電機	発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機	無し	無し	---	---	
	励磁装置	非常用ディーゼル発電機励磁装置#1 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機励磁装置#2	励磁装置#3 非常用ディーゼル発電機励磁装置#4	#1：非常用ディーゼル発電機励磁装置として構造、構造の荷重を考慮し、S5 に対する耐震性を確認 #2：高圧中心スプレイスライズディーゼル発 電機励磁装置として構造、構造の荷重を 考慮し、S5に対する耐震性を確認 #3：並の耐震計算を考慮	無し	---	---	
	保護継電装置	非常用ディーゼル発電機保護継電装置#1 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機保護継電装置#2	保護継電装置#3	#1：非常用ディーゼル発電機励磁装置及 びメカフルクワッド回路装置として構造 ・構造の荷重を考慮し、S5に対する 耐震性を確認 #2：高圧中心スプレイスライズディーゼル発 電機励磁装置及びメカフルクワッド回路装 置として構造・構造の荷重を考慮し、 S5に対する耐震性を確認 #3：並の耐震計算を考慮	無し	---	---	
	高圧検知	---	---	---	---	---	---	
	ポンプ	非常用ディーゼル発電機用排水ポンプ 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機用排水ポンプ	非常用ディーゼル発電機内燃機冷却排水ポンプ	非常用ディーゼル発電機内燃機冷却排水ポンプ	有り	有り	---	③
	防振機	非常用ディーゼル発電機用排水ポンプ用電動機 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機用排水ポン プ用電動機	---	---	---	---	---	---
	ろ過装置	非常用ディーゼル発電機用排水ストローナ 高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機用排水スト ローナ	非常用ディーゼル発電機内燃機冷却排水ホストローナ	---	---	---	---	---
給排設備	注塞弁	---	---	該当設備なし	有り	---	---	
	主配管	・非常用ディーゼル発電機用配管 (サポート含む) ・高圧中心スプレイスライズディーゼル発電機用配管 (サ ポート含む)	・非常用ディーゼル発電機内燃機冷却排水配管* ・非常用ディーゼル発電機内燃機冷却排水配管*	#1：「建設工部 (第8項) 燃料中への非 常用ディーゼル発電機内燃機冷却排水配管 の耐震性」について耐震計算を記載	有り	有り	③	
	冷却器又は冷却池	---	---	該当設備なし	---	---	---	
	送風機	---	---	該当設備なし	---	---	---	
	吸気機	---	---	該当設備なし	---	---	---	
	排気機	---	---	該当設備なし	---	---	---	
	原動機	---	---	---	該当設備なし	---	---	---

その他の発電機用原動力の附属施設

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

対象設備	設備名称	設備の用途	備考	設備の設置場所	設備の設置状況	設備の設置状況	備考
その他 の電 気 装 置	無停電電源装置	非常用無停電電源装置	ハイカルシウム電機設備	※参考 (別表第二至第四建設工地的記載) 新規Sクラス (建設時A, B, Sクラス)	(左記にて新規設置工事提出済みの場合、発給済 改造工事の履歴書等による網羅状況)	(左記にて新規設置工事提出済みの場合、発給済 改造工事の履歴書等による網羅状況)	(左記にて新規設置工事提出済みの場合、発給済 改造工事の履歴書等による網羅状況)
	電力貯蔵装置	ハイボルト蓄電池 中性子蓄電池	蓄電池 中性子蓄電池				②
その他 の電 気 装 置	非常用電源装置						
	補助ボイラー						
	火災防煙設備						
	防水防滲漏設備						
その他 の電 気 装 置	防雨設備 (耐湿防護型)	防雨設備 (耐湿防護型)					
	防凍設備 (凍結防止)	防凍設備 (凍結防止)					
	防風設備 (風速抑制)	防風設備 (風速抑制)					
	防音設備 (騒音抑制)	防音設備 (騒音抑制)					
	防火設備 (火災防止)	防火設備 (火災防止)					
	防振設備 (地震対策)	防振設備 (地震対策)					
	防塵設備 (塵埃抑制)	防塵設備 (塵埃抑制)					
	防臭設備 (臭気抑制)	防臭設備 (臭気抑制)					
	防汚設備 (汚染防止)	防汚設備 (汚染防止)					
	防虫設備 (害虫対策)	防虫設備 (害虫対策)					
その他 の電 気 装 置	漏水防滲漏設備	漏水防滲漏設備					
	非常用電源装置	非常用電源装置					
	電力貯蔵装置	電力貯蔵装置					
	非常用電源装置	非常用電源装置					
	電力貯蔵装置	電力貯蔵装置					
	非常用電源装置	非常用電源装置					
	電力貯蔵装置	電力貯蔵装置					
	非常用電源装置	非常用電源装置					
	電力貯蔵装置	電力貯蔵装置					
	非常用電源装置	非常用電源装置					
	電力貯蔵装置	電力貯蔵装置					
	非常用電源装置	非常用電源装置					

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二品名項目	東海第二発電所 今期工事設備内容 新築システム	参考 (別表第二設備別建設工事設備) 新築システム (建設費A5, A7プラス)	備考	改造工事の実施有無	(左記にて改造工事実施場ありの場合、 建設費) 改造工事の網羅計算書の提出有無	(左記にて網羅計算書提出場ありの場合、建設費) 改造工事の網羅計算書における適用価格
別表第二に記載のない施設 (添付4-1からのフィードバック)  問題支持構造物	原子炉建屋	原子炉建屋		無し	-	①JRC1601を適用しており、その中で指示501号を呼び込んでいる ②JRC1601を適用しており、指示501号を呼び込む代わりにJRC1601を適用して、呼び込み以外でも指示501号を適用 ③XX)に加え、呼び込み以外でもJRCを適用 ④その他 (詳細を記載)
	原子炉本体の基礎	原子炉本体の基礎		無し	-	
	使用新燃料乾式貯蔵建屋	使用新燃料乾式貯蔵建屋		無し	-	
	常設代替高圧電源装置用カルバート	--	新規設置	--	-	
	常設代替高圧電源装置	--	新規設置	--	-	
	非常用ガス処理系配管支持架橋	非常用ガス処理系配管支持架橋		無し	-	
	主排気筒	主排気筒		無し	-	
	主排気筒の基礎	排気筒基礎		無し	-	
	船外二重管	船外排水配管用外管 (二重管方式)		無し	-	
	取水構造物	取水建屋		無し	-	
	防振堤 (鉄筋コンクリート防振壁 (放水塔エリ ア))	--	新規設置	--	-	
	防振堤 (鋼管杭鉄筋コンクリート防振壁)	--	新規設置	--	-	
	S/A用海水ピット	--	新規設置	--	-	
	緊急用排水ポンプピット	--	新規設置	--	-	
	格納容器圧力逃がし装置冷却槽	--	新規設置	--	-	
	格納容器圧力逃がし装置用配管カルバート	--	新規設置	--	-	
	常設軽圧代排水系ポンプ室	--	新規設置	--	-	
	H/排水系貯槽	--	新規設置	--	-	

別表第二を踏まえた対象設備の網羅性

別表第二記載項目	別表第二記載内容 （別表Sクラス）	今回工事記載内容 （別表Sクラス）	備考 （別表第二記載設備） （別表Sクラス）	備考	改造工事の有無 （左記にて改造工事実施ありの場合、 改造工事の別表計算書の提出有無）	（左記にて別表計算書提出ありの場合、 改造工事の別表計算書提出有無）	
波及的影響に係る別表評価を記載する設備  注1：主機井等、採用新電用原子炉の設備、運転済に関する規則、別表第二（電気事業法施行規則）別表第三の表理により建設工事と今回工事で工認対象設備が異なるため、別表計算書を添付する設備が異なっているものがある。 注2：既設設備に搭載されている設備、組立機について、工認本文に拠って各機を示す。 また、工認本文への記載はないが建設当時A、A sクラスとして別表計算書が申請されている設備等についても名称を示す。 【凡例】別表項目に対して非該当・対象外であることを示しており、備考にその理由を記載している。 一、別表項目は別表第二対象であり、添付4-1からのフィールドマップではないが本項で整理している。	タービン基礎			-	無し	-	
	サービス基礎			-	無し	-	
	使用済燃料乾式貯蔵施設上屋			-	無し	-	
	ウォークレディングールライン（経路熱除去系）			-	無し	-	
	ウォークレディングールライン（経路中心スプレイス）			-	無し	-	
	ウォークレディングールライン（経路中心スプレイス）			-	無し	-	
	原子炉建屋クレーン		原子炉建屋クレーン		別表第二対象	無し	-
	燃料取扱機		燃料取扱機		別表第二対象	無し	-
	使用済燃料乾式貯蔵施設クレーン		使用済燃料乾式貯蔵施設クレーン		別表第二対象	無し	-
	チャンネル架設機				別表第二対象	無し	-
	燃料貯蔵施設ドレンポンプ				別表第二対象	無し	-
	中央制御室天井照明				-	無し	-
	海水ポンプ室電線架設用吊機設備				新規設置	-	-
	原子炉建屋外観ブローアウトパネル電線防護対策				新規設置	-	-
	原子炉遮蔽				別表第二対象	無し	-
	燃料貯蔵施設ハンガ		燃料貯蔵施設ハンガ		別表第二対象	無し	-
	燃料貯蔵施設フック		燃料貯蔵施設フック		別表第二対象	無し	-
	原子炉建屋ウエル遮断ブロック				-	無し	-
	海水取水				新規設置	-	-
	土留鋼管支柱				新規設置	-	-

対象設備の評価部位の網羅性（東海第二発電所）

評価対象設備		計画重要度分類	当該プラントにおける工総記載設備・部位 (構造強度評価) 注) 既工事では強度維持評価なし	最近プラントである大綱1号機の建設工事における記載設備・部位*1		今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から相違を十分有する ④: 該当する部位がない
設備	機器名称/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持		
原子炉本体									
原子炉压力容器	鋼板	鋼板	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		鋼板とスカートとの接合部	S	—	○	—	—	—	③
	下横板	下横板	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		下横と鋼板の接合部	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		下横とスカートの接合部	S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		下部横板（球継部と円継部の接合部）	S	—	○	—	—	■当該部位を有しないため、評価対象外とする。	④
		下部横板（ナックル部）	S	—	○	—	—	■当該部位を有しないため、評価対象外とする。	④
	制御棒駆動機構ハウジング貫通孔	スタブチューブ	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		ハウジング	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		下部横板リガメント	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	中性子束計測ハウジング貫通孔	ハウジング	S	○	—	—	—	■制御棒駆動機構ハウジング貫通孔の評価にて代表する。	①
	再循環水出口ノズル(N1)		S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	再循環水入口ノズル(N2)		S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	主蒸気ノズル(N3)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	給水ノズル(N4)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	炉心スプレイノズル(N5)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	上横スプレイノズル(N6)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	ベントノズル(N7)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	ジェットポンプ計測管貫通部ノズル(N8)		S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	組立検出・ほう酸水注入管ノズル(N10)		S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
計測ノズル(N11, 12, 16)		S	—	○	○	○	■主要部位（最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
ドレンノズル(N15)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
低圧注水ノズル(N17)		S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
ブラケット類	原子炉压力容器スタビライザブラケット	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	スチームドライヤサポートブラケット	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	給水スパーチャブラケット	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	炉心スプレイブラケット	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	低圧注水スパーチャブラケット	S	—	○	—	—	■当該プラントでは対象となる部位ないため、評価対象外とする。	④	
原子炉压力容器支持構造物	原子炉压力容器支持スカート	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	原子炉压力容器基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
原子炉压力容器付属構造物	原子炉压力容器スタビライザ	ロッド	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		ディスクスプリング支持板	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		ディスクスプリング	S	○	—	—	—	■ロッドの評価で代表できることから、評価を省略する。	①
	原子炉格納容器スタビライザ	トラスとフランジの接合部	S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		トラスとフランジの接合部	S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		トラスと原子炉遮蔽との取付部	S	○	—	○	○	■主要部位（最新BWR6 MARK-IIプラント当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
		フランジボルト	S	—	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
	制御棒駆動機構ハウジング支持金具	レストレイントビーム	S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—
ボルト		S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	
熟圧検出・ほう酸水注入管（クイーよりN10ノズルまでの外管）		S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工総評価部位）であるため評価対象とする。	—	

対象設備の評価部位の網羅性（東海第二発電所）

評価対象設備		組立重要度分類	当該プラントにおける工認記載設備・部位 (構造強度評価) (注) 既工事では機械検査評価なし	最近プラントである大館1号機の建設工事における記載設備・部位*	今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上他の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から相度を十分有する ④: 該当する部位がない
設備	機器名称/評価部位				構造強度	機械維持		
原子炉压力容器 内部構造物	蒸気乾燥器	ユニットサポート	S	○	—	○	—	—
		耐震サポート	S	○	—	○	—	—
	気水分離器及びスタンドパイプ	スタンドパイプ	S	○	○	○	—	—
		補板	S	○	—	○	—	—
	シュラウドヘッド	リング	S	—	○	—	—	④
		シュラウドヘッドボルト	S	○	—	○	—	—
	ジェットポンプ	ライザ	S	○	—	○	—	—
		デフューザ	S	○	—	○	—	—
ライザブレース		S	—	—	○	—	—	
スパーージャ及び 内部配管	給水スパーージャ	ティー	S	○	—	○	—	—
		ヘッド	S	○	—	○	—	—
	高圧炉心スプレイスパーージャ	パイプ	S	○	—	○	—	—
		ヘッド	S	○	—	○	—	—
	低圧炉心スプレイスパーージャ	パイプ	S	○	—	○	—	—
		ヘッド	S	○	—	○	—	—
	高圧炉心スプレイ配管（原子炉压力容器内部）	パイプ	S	○	—	○	—	—
		スリーブ	S	○	—	○	—	—
	低圧炉心スプレイ配管（原子炉压力容器内部）	ヘッド	S	○	—	○	—	—
		パイプ	S	○	—	○	—	—
	残留熱除去系配管（原子炉压力容器内部）	パイプ	S	—	—	○	—	—
		スリーブ	S	—	—	○	—	—
	蒸気抽出・ほう酸水注入管	ほう酸水注入管	S	○	—	○	—	—
		蒸気抽出管	S	○	—	○	—	—
中性子束計測案内管	中性子束計測案内管	S	○	—	○	—	—	
炉心支持構造物	炉心シュラウド	上部胴	S	○	○	○	—	—
		中間胴	S	○	—	○	—	—
		下部胴	S	○	○	○	—	—
	シュラウドサポート	レグ	S	○	○	○	—	—
		シリング	S	○	○	○	—	—
		プレート	S	○	○	○	—	—
		下部胴	S	○	○	○	—	—
	上部格子板	グリッドプレート	S	○	○	○	—	—
		補強ビーム	S	○	○	○	—	—
	炉心支持板	支持板	S	○	○	○	—	—
		スタッド	S	○	—	—	—	①
	燃料支持金具	中央燃料支持金具	S	—	○	○	—	—
		周辺燃料支持金具	S	—	○	○	—	—
	制御棒案内管	下部溶接部	S	—	○	○	—	—
長手中央部		S	○	○	○	—	—	

対象設備の評価部位の網羅性 (東海第二発電所)

評価対象設備		耐震重要度分類	当該プラントにおける工認記載設備・新設設備 (構造強度評価)	最近プラントである大町1号機の建設工事における記載設備・部位*	今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	選出番号 ①: 構造上の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から強度を十分有する ④: 該当する部位がない	
設備	機器名件/評価部位				構造強度	機能維持			構造強度
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設									
使用済燃料貯蔵設備	使用済燃料貯蔵ラック	ラック	S	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		ラック取付ボルト	S	○	○	○			
		基礎ボルト	S	○	-	○			
	使用済燃料乾式貯蔵容器	キャスク容器	S	○	-	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		中間胴	S	○	-	○			
		二次蓋	S	○	-	○			
		バスケット	S	○	-	○			
		トラニオン	S	○	-	○			
	使用済燃料乾式貯蔵容器 (タイプII)	キャスク容器	S	○	-	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		二次蓋	S	○	-	○			
		バスケット	S	○	-	○			
		トラニオン	S	○	-	○			
	使用済燃料乾式貯蔵容器 (タイプIII)	キャスク容器	S	○	-	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		二次蓋	S	○	-	○			
		バスケット	S	○	-	○			
		トラニオン	S	○	-	○			
使用済燃料貯蔵構造冷却浄化設備	主配管	配管本体	S	-	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		サポート	S	-	○	○			
原子炉冷却系統施設									
原子炉冷却材再循環設備	再循環系ポンプ	再循環系ポンプ	S	-	-	-	■接続配管と共にサポートされるため、構造上応力が生じやすいポンプ吸込部及び吐出部の配管接続部の応力評価で代表する。	①	
		主配管	配管本体	S	○	(○)	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-
			サポート	S	-	(○)	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
原子炉冷却材の循環設備	自動減圧機能用アキユムレータ	胴板	S	-	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		脚	S	-	○	○			
	過し安全弁制御用アキユムレータ	胴板	S	-	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		脚	S	-	○	○			
	過し安全弁	S	-	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	主配管	配管本体	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-
サポート		S	-	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。		
残留熱除去設備	残留熱除去系熱交換器	胴板	S	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		ラグ	S	○	-	○			
		脚	S	-	○	-	■脚ではなく、ラグ及びシアラグ支持構造であるため、評価対象外とする。	④	
		振れ止め	S	○	-	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		シアラグ	S	○	-	○			
		取付ボルト	S	○	-	○			
		基礎ボルト	S	-	○	-	■基礎ボルトではなく取付ボルト構造であるため、評価対象外とする。	④	

対象設備の評価部位の構構性 (東海第二発電所)

評価対象設備		耐震重要度分類	当該プラントにおける工総建設設備・部位 (構造強度評価) 注) 既工程では機器維持評価なし	最近プラントである大間1号機の建設工事における記載設備・部位*		今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上他の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から出度を十分有する ④: 該当する部位がない
設備	機器名称/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持		
残留熱除去設備	残留熱除去系ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		ポンプ取付ボルト	S	-	○	○	○		
		バルクケーシング	S	-	○	○	○		
		コラムパイプ	S	-	○	○	○		
	残留熱除去系ポンプ用原動機	原動機取付台ボルト	S	-	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		原動機取付ボルト	S	-	○	○	○		
	残留熱除去系ストレーナ	多孔プレート・ディスク	S	○	○	-	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		多孔プレート・スパーサ	S	○	○	-	○		
		リップ	S	○	○	-	○		
		コンプレッションプレート	S	○	○	-	○		
		フィンガ	S	○	○	-	○		
		ストラップ	S	○	○	-	○		
		フランジ	S	○	○	-	○		
	取付ボルト	S	-	○	-	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。		
安全弁及び逆がし弁	S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
主要弁	S	-	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
主配管	配管本体	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
	サポート	S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
非常用炉心冷却設備その他原子炉圧未設備	高圧炉心スプレイ系ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		ポンプ取付ボルト	S	-	○	○	○		
		バルクケーシング	S	-	○	○	○		
		コラムパイプ	S	-	○	○	○		
	高圧炉心スプレイ系ポンプ用原動機	原動機取付台ボルト	S	-	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		原動機取付ボルト	S	-	○	○	○		
	低圧炉心スプレイ系ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		ポンプ取付ボルト	S	-	○	○	○		
		バルクケーシング	S	-	○	○	○		
		コラムパイプ	S	-	○	○	○		
	低圧炉心スプレイ系ポンプ用原動機	原動機取付台ボルト	S	-	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		原動機取付ボルト	S	-	○	○	○		
	高圧炉心スプレイ系ストレーナ	多孔プレート・ディスク	S	○	○	-	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		多孔プレート・スパーサ	S	○	○	-	○		
リップ		S	○	○	-	○			
コンプレッションプレート		S	○	○	-	○			
フィンガ		S	○	○	-	○			
ストラップ		S	○	○	-	○			
フランジ		S	○	○	-	○			
取付ボルト	S	-	○	-	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。			



対象設備の評価部位の網羅性 (東海第二発電所)

評価対象設備		計管重要度分類	当該プラントにおける工総記載設備・部位 (構造強度評価) 注) 既工種では評価維持評価なし	最近プラントである大間1号機の建設工事における記載設備・部位*		今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から労度を十分有する ④: 該当する部位がない	
設備	機器名称/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持			
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	膨張圧炉心スプレーストレーナ	多孔プレート・ディスク	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		多孔プレート・スヘーサ	S	○	○	○	○			
		リブ	S	○	○	○	○			
		コンプレッションプレート	S	○	○	○	○			
		フィンガ	S	○	○	○	○			
		ストラップ	S	○	○	○	○			
		フランジ	S	○	○	○	○			
		取付ボルト	S	-	○	○	○			
	安全弁及び逃がし弁	S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	主配管	S	-	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
主配管	配管本体	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	サポート	S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
原子炉冷却材補給設備	原子炉隔離時冷却系ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		ボンプ取付ボルト	S	○	○	○	○			
	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用電気駆動タービン	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		取付ボルト	S	○	○	○	○			
	主要弁	S	-	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	主配管	配管本体	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
サポート		S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
原子炉機械冷却設備	残留熱除去系海水ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		ボンプ取付ボルト	S	-	○	-	○			
		コラムパイプ	S	-	○	-	○			
		サポート	S	-	-	-	○			
		サポート取付ボルト	S	-	-	-	○			
	残留熱除去系海水ポンプ用原動機	原動機取付ボルト	S	-	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		原動機取付ボルト	S	-	○	○	○			
	残留熱除去系海水系ストレーナ	基礎ボルト	S	○	○	-	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
		配管本体	S	○	○	-	○			
	主配管	配管本体	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
サポート		S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
原子炉冷却材浄化設備	主要弁	S	-	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	主配管	配管本体	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		サポート	S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
計測制御系統監視										
制御材	制御棒	シース	S	○	-	○	-	■JEAG4021・補-1094に基づき、制御棒挿入性評価による機能維持を行う。	-	
		ローラヒン	S	○	-	○	-			
制御棒駆動装置	制御棒挿入性	S	-	○	○	-	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	制御棒駆動機構	制御棒駆動機構フランジ	S	-	○	-	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	水圧制御ユニット	フレーム	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
		基礎ボルト	S	○	○	-	○			
	主要弁	S	-	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	
	主配管	配管本体	S	○	○	-	○	-	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-
サポート		S	-	○	-	○	-	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	-	

対象設備の評価部位の構構性 (東海第二発電所)

評価対象設備		耐震重要度分類	当該プラントにおける工認記載設備・新化 (構造強度評価)	当該プラントにおける工認記載設備・新化 (構造強度評価)	最近プラントである大間1号機の建設工事における記載設備・部位*		今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号
設備	機器名称/評価部位				構造強度	機能維持	構造強度	機能維持		
ほう酸水注入設備	ほう酸水注入ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	①	
		ポンプ取付ボルト	S	○	○	○	○			
		減速機取付ボルト	S	—	○	—	—			
	ほう酸水注入ポンプ用原動機	原動機取付ボルト	S	—	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	②
	ほう酸水貯蔵タンク	胴板	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	③	
		基礎ボルト	S	○	○	○	○			
	安全弁及び選り分		S	—	○	—	○	—	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	④
主配管	配管本体	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	⑤		
	サポート	S	—	○	○	○				
計測装置	起動領域計表	ドライチューブ	S	○	○	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。 ■電氣的機能維持の観点で評価対象とする。	⑥	
	出力領域計表	管	S	—	○	○	—		⑦	
	主蒸気流量	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑧	
	原子炉隔離時冷却系統流量	基礎ボルト	S	—	—	○	○		⑨	
	高圧炉心スプレイ系統流量	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑩	
	低圧炉心スプレイ系統流量	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑪	
	残留熱除去系統流量	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑫	
	原子炉圧力	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑬	
	原子炉水位	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑭	
	原子炉水位 (広相域)	基礎ボルト	S	—	—	○	○		⑮	
	原子炉水位 (燃料域)	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑯	
	ドライウェル圧力	基礎ボルト	S	—	—	○	○		■主要部位であるため評価対象とする。	⑰
		溶接部	S	—	—	○	○			
	サブプレッション・チェンバ圧力	基礎ボルト	S	—	—	○	○		■主要部位であるため評価対象とする。	⑱
		溶接部	S	—	—	○	○			
	サブプレッション・プール水温度	溶接部	S	—	—	○	○		⑲	
	格納容器内酸濃度	取付ボルト	S	—	—	○	○		⑳	
	サブプレッション・プール水位	基礎ボルト	S	—	—	○	○		■主要部位であるため評価対象とする。	㉑
		溶接部	S	—	—	○	○			
盤	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。 ■電氣的機能維持の観点で評価対象とする。	㉒		
	取付ボルト	S	—	—	○	○				
制御用空気設備	主配管	配管本体	S	—	—	○	—	■主要部位であるため評価対象とする。	㉓	
		サポート	S	—	—	○	—			
放射線実物の廃棄施設										
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	主要弁	S	—	—	—	○	—	■主要部位であるため評価対象とする。	㉔	
	主配管	配管本体	S	○	—	○	—			
		サポート	S	—	—	—	○			—
	非常用ガス処理系排気筒	S	○	—	—	○	—			■当該プラント工認同様に本体を評価対象とする。

対象設備の評価部位の網羅性 (東海第二発電所)

評価対象設備		制鋼重要度分類	当該プラントにおける工総記載設備・部位 (構造強度評価)	最近プラントである大開1号機の建設工事における記載設備・部位*	今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上他の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から強度を十分有する ④: 該当する部位がない		
設備	機器名等/評価部位				構造強度	機能維持			構造強度	機能維持
放射線管理施設										
放射線管理用計測装置	主蒸気管放射線モニタ	取付ボルト	S	—	○	—	○	■取付ボルトではなく、基礎溶接であるため、評価対象外とする。	④	
		溶接部	S	—	—	—	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W)	取付ボルト	S	—	○	—	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		基礎ボルト	S	—	—	—	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)	基礎ボルト	S	—	—	—	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
原子炉建屋換気系 (ダクト) 放射線モニタ	基礎ボルト	S	—	—	—	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—		
換気設備	中央制御室換気系空気調和機ファン	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		ファン取付ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	中央制御室換気系空気調和機ファン用原動機	取付ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	中央制御室換気系フィルタ系ファン	基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	中央制御室換気系フィルタ系ファン用原動機	取付ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	中央制御室換気系フィルタユニット	基礎ボルト	S	○	○	—	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
主配管	配管本体 (ダクト)	S	—	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	サポート	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
原子炉格納施設										
原子炉格納容器本体	ドライウェルトップヘッド	頂部	S	○	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (ドライウェル内筒部及びプレッシャージャケット内筒部及びバンドクッション部) で代表可能であるため、評価を省略する。	④	
		不連続部	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (ドライウェル内筒部及びプレッシャージャケット内筒部及びバンドクッション部) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
	ドライウェルトップ内筒部及びプレッシャージャケット内筒部	内筒部と内筒部の接合部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (最新BWR6 (MARK-II) プラント当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		内筒部の角渡変化部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (最新BWR6 (MARK-II) プラント当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		内筒部の根厚変化部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (最新BWR6 (MARK-II) プラント当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		内筒部と内筒部の接合部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (最新BWR6 (MARK-II) プラント当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		内筒部 (中央部)	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (最新BWR6 (MARK-II) プラント当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		底部のフランジプレートとの接合部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (最新BWR6 (MARK-II) プラント当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
	ドライウェルビームシート	シートプレート	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (上段ビームシート及び下段ビームシート) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
		銅板	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (上段ビームシート及び下段ビームシート) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
		下板	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (上段ビームシート及び下段ビームシート) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
		シートプレートとの溶接部	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (上段ビームシート及び下段ビームシート) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
		銅板とシェルとの溶接部	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (上段ビームシート及び下段ビームシート) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
		締結リング	S	○	—	—	—	—	■構造上、他の評価部位 (上段ビームシート及び下段ビームシート) で代表可能であるため、評価を省略する。	④
		上段ビームシート	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
	下段ビームシート	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	上部シールド及びスタビライザ	メイルシアラグ	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		フィメイルシアラグ	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		ベースプレート	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		シアプレート	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
ウェブ		S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
フランジとウェブの取付部		S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
アンカボルト		S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
コンクリート		S	—	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
上部シールドと格納容器胴との接合部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		

対象設備の評価部位の網羅性 (東海第二発電所)

評価対象設備		計画重要度分類	当該プラントにおける工認記載設備・部位 (構造強度評価) (注) 既工事では施設維持評価なし	最近プラントである大間1号機の建設工事における記載設備・部位*		今回工認における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上他の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から相違を十分有する ④: 該当する部位がない
設備	機器名称/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持		
原子炉格納容器 本体	下部シアラグとダイヤフラムフラケット	メイルシアラグ	S	○	—	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		フィメイルシアラグ	S	○	—	○			
		ベースプレート	S	○	—	○			
		シアラグプレート	S	○	—	○			
		ダイヤフラムフロアフラケット	S	○	—	○			
		アンカーボルト	S	○	—	○			
		コンクリート	S	—	—	○			
		下部シアラグと格納容器胴との接合部	S	○	—	○			
	サブプレッジョン・チェンバ底部分イオ	中央部ライナープレート	S	○	—	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		リングガタ周辺部	S	○	—	○			
	原子炉格納容器脚アンカー部	アンカーボルト	S	○	—	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		アンカープレート	S	○	—	○			
		補強リブ	S	○	—	○			
		ベースプレート	S	○	—	○			
		コンクリート	S	○	—	○			
原子炉格納容器 貫通部	機器搬入用ハッチ	イクイメントハッチ本体と補強板との接合部	S	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		補強板と格納容器胴一般部の接合部	S	○	○	○			
	荷員用エアロック	パーソネルエアロック本体と補強板との接合部	S	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		補強板と格納容器胴一般部の接合部	S	○	○	○			
	サブプレッジョン・チェンバアクセスハッチ	サブプレッジョン・チェンバアクセスハッチ本体と補強板との接合部	S	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		補強板と格納容器胴一般部の接合部	S	○	○	○			
	配管貫通部	原子炉格納容器胴とスリーブとの接合部	S	○	—	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		原子炉格納容器胴と補強板との接合部	S	○	—	○			
	電気配線貫通部	スリーブ付根部	S	—	—	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—	
		補強板付根部	S	—	—	○			
原子炉建屋	原子炉建屋エアロック	ヒンジアーム	S	—	—	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—	
		ヒンジピン	S	—	—	○			
		ヒンジボルト	S	—	—	○			
		カンヌキ	S	—	—	○			
		カンヌキ受けピン	S	—	—	○			
		カンヌキ受けボルト	S	—	—	○			
	原子炉建屋大物搬入口	フェースプレート	S	—	—	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—	
		梁	S	—	—	○			
		ベアリング	S	—	—	○			
		ローラピン	S	—	—	○			
		テーパブロック	S	—	—	○			
		取付ボルト	S	—	—	○			

対象設備の評価部位の網羅性 (東海第二発電所)

設備	評価対象設備 機器名等/評価部位	耐震重要度分類	当該プラントにおける工認記載設備・部位 (構造強度評価) (注) 既工程では施設標準評価なし	最近プラントである大間1号機の建設工認における記載設備・部位*		今回工認における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号 ①: 構造上の部位で代表可能 ②: 過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③: 過去の評価実績から程度を十分有する ④: 該当する部位がない		
				構造強度	機能維持	構造強度	機能維持				
圧力容器設備	真空断熱装置	S	—	○	—	○	—	■主要部位であるため評価対象とする。	—		
	ダイヤフラムフロア	鉄筋コンクリートスラブ	S	○	○	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		鉄骨部 (大梁)	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。		
		鉄骨部 (小梁)	S	○	—	—	○	—			
		鉄骨部 (柱)	S	○	—	—	○	—			
		鉄骨部 (シアコネクタ)	S	○	—	—	○	—			
	ベント管	上部	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。		
ブレージング部		S	○	—	—	○	—				
原子炉格納容器安全設備	格納容器スプレッドヘッド	配管本体	S	○	○	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	可燃性ガス濃度制御系再結合装置	基礎ボルト	S	○	○	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		ブレース	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロー	ベース取付留接部	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		主蒸気隔離弁漏えい抑制系ブロー	基礎ボルト	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—
			取付ボルト	S	○	—	—	○	—		—
			索	S	○	—	—	○	—		—
	低圧マニホールド	サポート	S	○	—	—	○	—	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		支持脚	S	○	—	—	○	—		—	
	非常用ガス再循環系排風機	基礎ボルト	S	○	—	—	○	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		排風機取付ボルト	S	○	—	○	○	○			
		ケーシング固定ボルト	S	○	—	—	○	○			
	非常用ガス再循環系排風機用電動機	取付ボルト	S	○	—	○	○	○	■主要部位 (当該プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	非常用ガス処理系排風機	基礎ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		ケーシング固定ボルト	S	○	○	—	○	○			
	非常用ガス処理系排風機用電動機	取付ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	非常用ガス再循環系フィルタレイン	基礎ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		取付ボルト	S	○	○	—	○	○			
		脚	S	○	—	—	—	—			■構造上、基礎ボルトより断面積が大きく、基礎ボルト (最新プラントの工認評価部位) を代表部位に指定しているため、評価対象外。
	非常用ガス処理系フィルタレイン	基礎ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		取付ボルト	S	○	○	—	○	○			
脚		S	○	—	—	—	—	■構造上、基礎ボルトより断面積が大きく、基礎ボルト (最新プラントの工認評価部位) を代表部位に指定しているため、評価対象外。			②
安全弁及び遠がし弁		S	—	○	—	○	—	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—		
主要弁		S	—	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—		
主配管	配管本体	S	○	○	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	サポート	S	—	○	—	○	○			■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	
原子炉格納容器排気設備	主要弁		S	—	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	主配管	配管本体	S	○	○	—	○	—	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		サポート	S	—	○	—	○	○			■主要部位 (最新プラントでの工認評価部位) であるため評価対象とする。

対象設備の評価部位の網羅性 (東海第二発電所)

評価対象設備		耐用重要度分類	当該プラントにおける工総記載設備・部位 (構造強度評価)		最近プラントである大間1号機の建設工事における記載設備・部位*		今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号	
設備	機器名等/評価部位		注) 既工事では強度維持評価なし	構造強度	機能維持	構造強度	機能維持				
その他発電用原子炉の附属施設											
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電機内燃機間	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		機間取付ボルト	S	—	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	高圧炉心スプレイスディーゼル発電機内燃機間	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		機間取付ボルト	S	—	○	○	○	○	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
	非常用ディーゼル発電機調速装置及び非常用調速装置		S	—	—	○	—	○	■内燃機間に取り付け基礎設備であるため、内燃機間の動的機能維持評価を代表して実施する。	—	
	高圧炉心スプレイスディーゼル発電機調速装置及び非常用調速装置		S	—	—	○	—	○	■内燃機間に取り付け基礎設備であるため、内燃機間の動的機能維持評価を代表して実施する。	—	
	非常用ディーゼル発電機空気だめ	脚板	S	—	○	—	○	—	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		スカート	S	—	○	—	—	—	■スカート支持ではなく、脚支持であるため評価対象外とする。	④	
		脚	S	—	—	—	○	—	■主要部位 (最新プラントで同じ構造内筒部等の工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
高圧炉心スプレイスディーゼル発電機空気だめ	脚板	S	—	○	—	○	—	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	スカート	S	—	○	—	—	—	■スカート支持ではなく、脚支持であるため評価対象外とする。	④		
	脚	S	—	—	—	○	—	■主要部位 (最新プラントで同じ構造内筒部等の工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
非常用ディーゼル発電機燃料ディンク	脚板	S	—	○	—	○	—	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	スカート	S	—	○	—	—	—	■スカート支持ではなく、脚支持であるため評価対象外とする。	④		
	脚	S	—	—	—	○	—	■主要部位 (最新プラントで同じ構造内筒部等の工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
高圧炉心スプレイスディーゼル発電機燃料ディンク	脚板	S	—	○	—	○	—	■主要部位 (最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	スカート	S	—	○	—	—	—	■スカート支持ではなく、脚支持であるため評価対象外とする。	④		
	脚	S	—	—	—	○	—	■主要部位 (最新プラントで同じ構造内筒部等の工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—		
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	基礎ボルト	S	○	—	—	○	○	■主要部位 (新規別表第2登録設備) であるため評価対象とする。	—	
	ポンプ取付ボルト	S	○	—	—	—	○	○	—		
	原動機取付ボルト	S	—	—	—	—	○	○	—		
高圧炉心スプレイスディーゼル発電機燃料移送ポンプ	基礎ボルト	S	○	—	—	—	○	○	■主要部位 (新規別表第2登録設備) であるため評価対象とする。	—	
	ポンプ取付ボルト	S	○	—	—	—	○	○	—		
	原動機取付ボルト	S	—	—	—	—	○	○	—		
非常用ディーゼル発電機	固定予部基礎ボルト	固定予部基礎ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位 (当該プラント及び最新プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—	
		固定予部取付ボルト	S	—	○	—	—	○	○	■固定予部取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④
	直結側軸受台部基礎ボルト	直結側軸受台部基礎ボルト	S	○	—	—	○	○	○	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
		直直結側軸受台部基礎ボルト	S	○	—	—	○	○	○	■主要部位 (当該プラントでの工総評価部位) であるため評価対象とする。	—
	機間側軸受台部	機間側軸受台部下部ベース取付ボルト	S	—	○	—	—	—	○	■機間側軸受台部下部ベース取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④
		機間側軸受台部ベース取付ボルト	S	—	○	—	—	—	○	■機間側軸受台部ベース取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④
		軸受台取付ボルト	S	—	○	—	—	—	○	■軸受台取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④

対象設備の評価部位の網羅性（東海第二発電所）

評価対象設備		耐震要素 区分	当該プラントにおける 工事記録設備・部位 （構造強度評価） 注）既工事 では機能維持 評価なし	最近プラントである大岡1 号機の建設工事における記 載設備・部位		今回工事における評価		評価部位の選定理由 （構造強度評価）	理由番号 ①：構造上の部位で代表可能 ②：過去の評価実績から他の 部位で代表可能 ③：過去の評価実績から強度 を十分有する ④：該当する部位がない	
設備	機器名称/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持			
非常用発電装置	高圧炉心スプレイスディーゼル発電機	固定子部基礎ボルト	S	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
		固定子取付ボルト	S	—	○	—	—	■固定子部取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④	
		直結励磁受台部基礎ボルト	S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
		反直結励磁受台基礎ボルト	S	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
		機間励磁受台下部ベース取付ボルト	S	—	○	—	—	■機間励磁受台下部ベース取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④	
		機間励磁受台ベース取付ボルト	S	—	○	—	—	■機間励磁受台ベース取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④	
		軸受台取付ボルト	S	—	○	—	—	■軸受台取付ボルトを有しない構造であるため、評価対象外とする。	④	
	非常用ディーゼル発電機制御盤	取付ボルト	S	○	○	—	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	高圧炉心スプレイスディーゼル発電機制御盤	取付ボルト	S	○	○	—	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	軽油貯蔵タンク	胴板	S	—	—	—	○	—	■主要部位（最新プラントで同じ構造内筒巻線の工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		脚	S	—	—	—	○	—	■主要部位（最新プラントで同じ構造内筒巻線の工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		基礎ボルト	S	—	—	—	○	—	■主要部位（最新プラントで同じ構造内筒巻線の工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
	非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		ポンプ取付ボルト	S	—	○	—	○	○	■主要部位（最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	
		コラムパイプ	S	—	○	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
		サポート	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
		サポート取付ボルト	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
	非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ原動機	原動機取付ボルト	S	—	○	○	○	○	■主要部位（最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		原動機取付ボルト	S	—	○	○	○	○	■主要部位（最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
	高圧炉心スプレイスディーゼル発電機用海水ポンプ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		ポンプ取付ボルト	S	—	○	—	○	○	■主要部位（最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	
		コラムパイプ	S	—	○	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
		サポート	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
		サポート取付ボルト	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	
	高圧炉心スプレイスディーゼル発電機用海水ポンプ原動機	原動機取付ボルト	S	—	○	○	○	○	■主要部位（最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		原動機取付ボルト	S	—	○	○	○	○	■主要部位（最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
	非常用ディーゼル発電機用海水ストレーナ	基礎ボルト	S	○	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
基礎ボルト		S	○	○	○	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
主配管	配管本体	S	○	○	—	○	—	■主要部位（当該プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
	サポート	S	—	○	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—	
その他の電源装置	非常用無停電電源装置	取付ボルト	S	○	○	—	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—	
		基礎ボルト	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—
	125V系蓄電池	取付ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位（当該プラント及び最新プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		基礎ボルト	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—
	中性子モニター用蓄電池	取付ボルト	S	○	○	—	○	○	■主要部位（当該プラントでの工認評価部位）であるため評価対象とする。	—
		基礎ボルト	S	—	—	—	○	○	■主要部位であるため評価対象とする。	—

対象設備の評価部位の網羅性（東海第二発電所）

評価対象設備		重要度 分類	当該プラントにおける 工区記載設備・部位 (構造強度評価)  (注) 既工事 では機械種 別評価なし	最近プラントである大間1 号機の建設工事における記 載設備・部位*		今回工事における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号  ①：構造上他の部位で代表可 能 ②：過去の評価実績から他の 部位で代表可能 ③：過去の評価実績から裕度 を十分有する ④：該当する部位がない	
設備	機器名称/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持			
波及的影響に係る設備										
燃料取扱設備	燃料取扱機	燃料取扱機構造物フレーム	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○	■波及的影響防止の観点での構造物フレーム、脱 落防止ラグ、レール周りを評価対象とする。	—	
		ブリッジ脱線防止ラグ (本体)	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		ブリッジ脱線防止ラグ (取付ボルト)	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		トロッコ脱線防止ラグ(本 体)	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		トロッコ脱線防止ラグ(取 付ボルト)	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		走行レール	B(S <sub>s</sub> )	—	○	○	○			
		横行レール	B(S <sub>s</sub> )	—	○	○	○			
	吊具	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○				
	原子炉建屋クレーン	クレーン本体ガード	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○	■波及的影響防止の観点でのクレーン本体ガー ド、落下防止金具、ストップ、吊具を評価対象と する。	—	
		落下防止金具	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		トロリストッパ	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		吊具	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○			
	使用済燃料乾式貯蔵建屋クレーン	ガード	B(S <sub>s</sub> )	○	—	○	○	■波及的影響防止の観点でのガード、浮上防止装 置、クレーン本体、レール周りを評価対象とす る。	—	
		ブリッジ浮上防止装置	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○			
		トロッコ浮上防止装置	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○			
		クレーン本体	B(S <sub>s</sub> )	○	—	○	○			
		走行レール	B(S <sub>s</sub> )	○	—	○	○			
		横行レール	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○			
	使用済燃料貯蔵 設備	チャンネル巻揚機	ガイドレール	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○	■波及的影響防止の観点で、ガイドレール、カー ト、固定ボルト及びローラチェーンを評価対象と する。	—
			カート	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○		
			固定ボルト	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○		
ローラチェーン			B(S <sub>s</sub> )	—	—	○	○			
制鋼棒貯蔵ラック		ラック	B(S <sub>s</sub> )	—	○	—	○	■波及的影響防止の観点で、ラック支持部材、 基礎ボルト、ラック支持部材を評価対象とす る。	—	
		ラック支持部材(サ ポートプレート)	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
		基礎ボルト	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○			
制鋼棒貯蔵ハンガ		ハンガ	B(S <sub>s</sub> )	○	○	○	○	■波及的影響防止の観点で、ハンガ、ネルソンス クッドを評価対象とする。	—	
		ネルソンスクッド	B(S <sub>s</sub> )	○	—	○	○			
		留止め	B(S <sub>s</sub> )	—	○	—	—			
		サポート	B(S <sub>s</sub> )	—	○	—	—			
残留熱除去設備		残留熱除去系ウォータレグシール ポンプ	基礎ボルト	B(S <sub>s</sub> )	○	—	○	■波及的影響防止の観点で、基礎ボルト、ポンプ 取付ボルト、原動機取付ボルトを評価対象とす る。	—	
			ポンプ取付ボルト	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○			○
		残留熱除去系ウォータレグシール ポンプ用原動機	原動機取付ボルト	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○			○
			配管本体	B(S <sub>s</sub> )	○	—	○			○
		残留熱除去系ウォータレグシール ライン配管	サポート	B(S <sub>s</sub> )	—	—	○			○



対象設備の評価部位の網羅性（東海第二発電所）

評価対象設備		耐震重要度分類	当該プラントにおける工号記載設備・部位 (構造強度評価)  (注) 既工程では機器は再評価なし	最近プラントである大間1号機の建設工号における記載設備・部位*		今回工号における評価		評価部位の選定理由 (構造強度評価)	理由番号  ①：構造上他の部位で代表可能 ②：過去の評価実績から他の部位で代表可能 ③：過去の評価実績から裕度を十分有する ④：該当する部位がない
設備	機器名等/評価部位			構造強度	機能維持	構造強度	機能維持		
非常用炉心冷却設備等の施設等 炉後水設備	高圧炉心スプレィ系ウォータレグ シールポンプ	基礎ボルト	B(S+)	○	—	○	■波及的影響防止の観点で、基礎ボルト、ポンプ 取付ボルト、原動機取付ボルトを評価対象とする。	—	
		ポンプ取付ボルト	B(S+)	—	—	○			
	高圧炉心スプレィ系ウォータレグ シールポンプ用原動機	原動機取付ボルト	B(S+)	—	—	○			
		配管本体	B(S+)	○	—	○			
	高圧炉心スプレィ系ウォータレグ シールライン配管	サポート	B(S+)	—	—	○			
		基礎ボルト	B(S+)	○	—	○			
	低圧炉心スプレィ系ウォータレグ シールポンプ	ポンプ取付ボルト	B(S+)	—	—	○			
		原動機取付ボルト	B(S+)	—	—	○			
	低圧炉心スプレィ系ウォータレグ シールライン配管	配管本体	B(S+)	○	—	○			
		サポート	B(S+)	—	—	○			
気体、液体又は 固体現象物処理 設備	格納容器機器ドレンサンパ	胴板	B(S+)	—	—	○	■波及的影響防止の観点で、胴板、ラグを評価対象とする。	—	
		ラグ	B(S+)	—	—	○			
中央制御室天井照明	中央制御室天井照明	90吊ボルト	C(S+)	—	—	○	■波及的影響防止の観点で、90吊ボルト、レース ウェイを評価対象とする。	—	
		レースウェイ	C(S+)	—	—	○			
生体遮蔽装置	原子炉遮蔽	一般胴部	B(S+)	—	—	○	■波及的影響防止の観点で、一般胴部、開口部中 部、アンカーボルト、シアプレートの評価対象と する。	—	
		開口部中部	B(S+)	—	—	○			
		アンカーボルト	B(S+)	—	—	○			
		シアプレート	B(S+)	—	—	○			
火災防護施設	耐火障壁	アンカーボルト	C(S+)	—	—	○	■波及的影響防止の観点で、アンカーボルトを評 価対象とする。	—	
電巻防護対策施 設	原子炉建屋外側ブローアウトパネ ル防護対策施設	ネット用架橋	C(S+)	—	—	○	■波及的影響防止の観点で、架橋、アンカーボ ルト、取付ボルト、防護籠を評価対象とする。	—	
		アンカーボルト	C(S+)	—	—	○			
		防護ネット取付ボルト	C(S+)	—	—	○			
		防護籠	C(S+)	—	—	○			
	原子炉建屋外側ブローアウトパネ ル防護対策施設	フレーム	C(S+)	—	—	○	■波及的影響防止の観点で、フレーム、アンカー ボルトを評価対象とする。	—	
		アンカーボルト	C(S+)	—	—	○			

\*1：原子炉圧力容器本体、原子炉冷却材再循環設備、原子炉格納容器施設について、炉の型式違い（A BWRとBWR5）により評価対象設備又は評価部位を有しないものについては参考として最新BWR5プラントの工号対象部位を（○）として記載する。